

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公開番号】特開2001-98168(P2001-98168A)

【公開日】平成13年4月10日(2001.4.10)

【出願番号】特願2000-246832(P2000-246832)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/02 (2006.01)

C 0 7 D 211/46 (2006.01)

C 0 7 D 401/14 (2006.01)

C 0 7 D 403/14 (2006.01)

C 0 7 D 493/10 (2006.01)

C 0 7 D 498/10 (2006.01)

C 0 7 D 519/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

C 0 8 K 5/34 (2006.01)

C 0 8 L 23/02 (2006.01)

C 0 8 L 25/14 (2006.01)

C 0 8 L 35/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 L 71/02 (2006.01)

C 0 8 L 79/04 (2006.01)

C 0 8 L 83/08 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 9 K 15/30 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/02

C 0 7 D 211/46

C 0 7 D 401/14

C 0 7 D 403/14

C 0 7 D 493/10 B

C 0 7 D 498/10 A

C 0 7 D 519/00

C 0 8 K 3/22

C 0 8 K 5/34

C 0 8 L 23/02

C 0 8 L 25/14

C 0 8 L 35/00

C 0 8 L 67/02

C 0 8 L 71/02

C 0 8 L 79/04

C 0 8 L 83/08

C 0 8 L 101/00

C 0 9 K 15/30

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

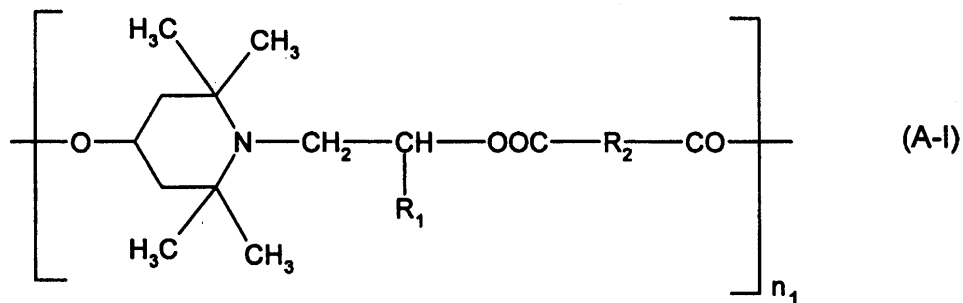
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

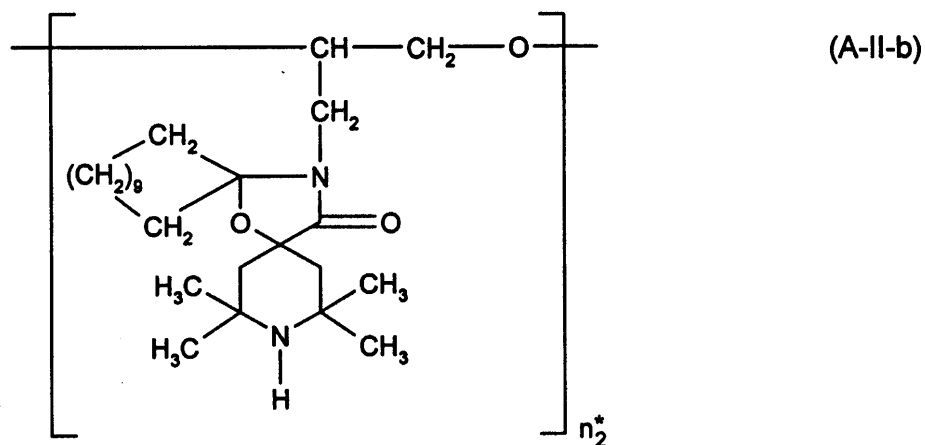
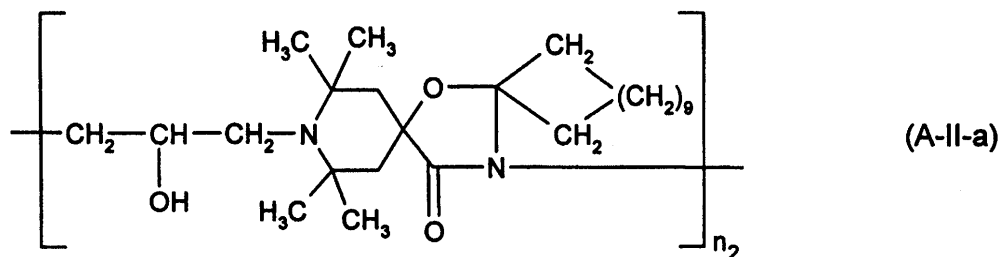
(A) 次式 (A-I)

【化 1】



〔式中、 R_1 は水素原子または炭素原子数1ないし4のアルキル基を表し、 R_2 は直接結合または炭素原子数1ないし10のアルキレン基を表し、そして n_1 は2ないし50の数を表す。〕で表される化合物、または次式 (A-II-a) および (A-II-b)

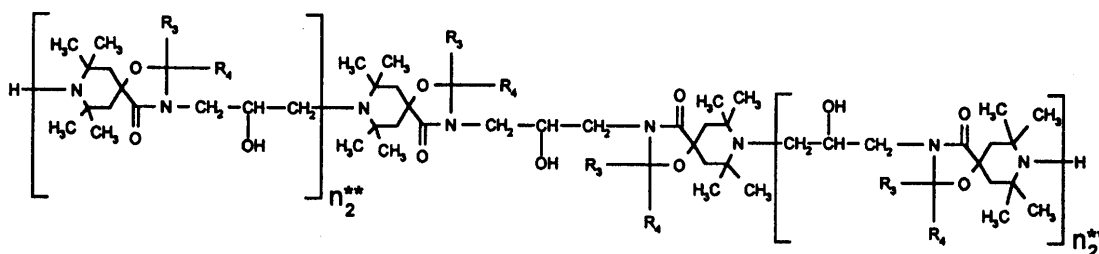
【化 2】



〔式中、 n_2 および n_2^* は2ないし50の数を表す。〕で表される少なくとも一つの化合物、または

次式 (A-III)

【化 3】



(A-III)

[式中、 R_3 および R_4 は互いに独立して水素原子または炭素原子数1ないし8のアルキル基を表すか、または R_3 および R_4 は一緒に炭素原子数5ないし11のアルキレン基を形成し、そして

変数 n_2^{**} は互いに独立して1ないし50の数を表す。]で表される化合物と、

(B) 立体障害アミン化合物と、および

(C) アナターゼを含むが、但し前記成分(B)は式(A-I)、(A-II-a)、(A-II-b)および(A-III)で表される化合物とは異なる安定剤混合物。

【請求項2】

前記成分(B)は

ジ(2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イル)セバケート、

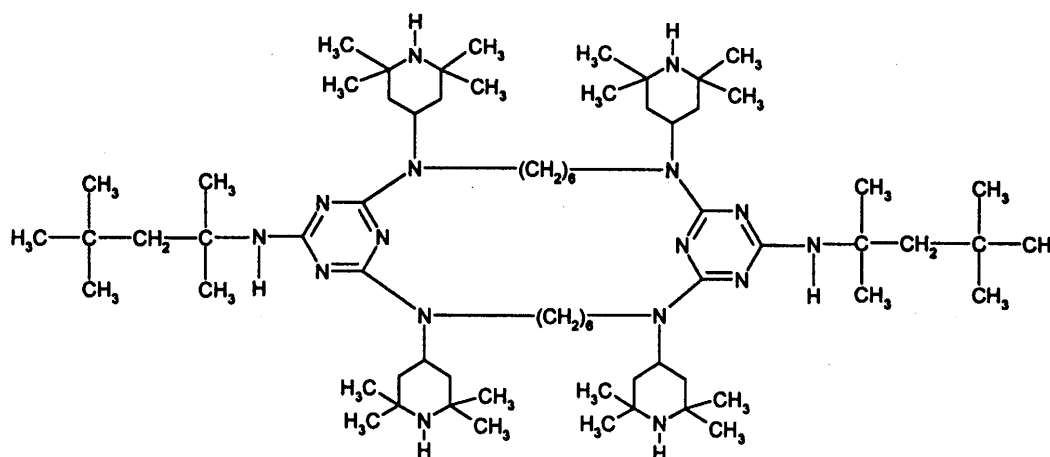
ジ(1-オクチルオキシ-2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イル)セバケート、

ジ(1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチルピペリジニ-4-イル)セバケート、

8-アセチル-3-ドデシル-1, 3, 8-トリアザ-7, 7, 9, 9-テトラメチルスピロ[4.5]デカン-2, 4-ジオン、

ジ(1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチルピペリジニ-4-イル)ブチル(3, 5-ジ-第三ブチル-4-ヒドロキシベンジル)マロネート、

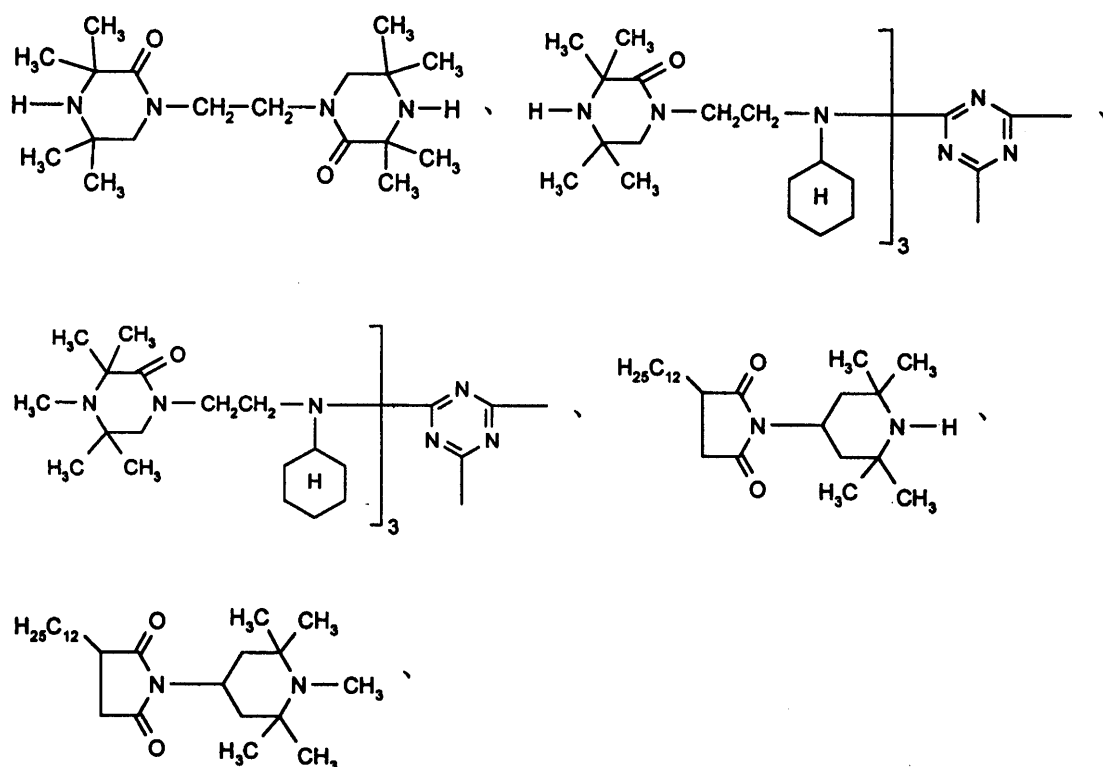
【化4】



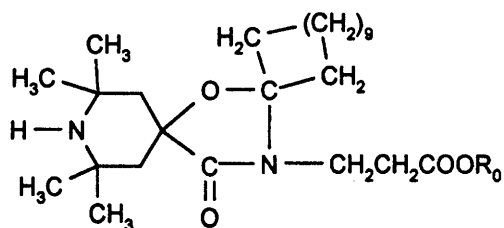
4-ステアロイルオキシ-2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジン、

1-(2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イルアミノ)-2-(2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イルアミノカルボニル)エタン、

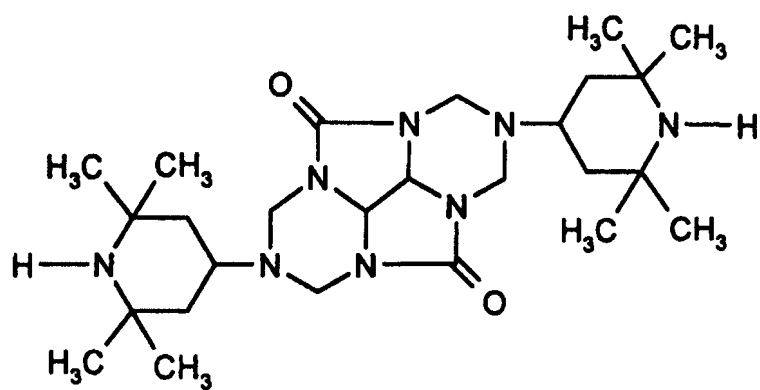
【化5】



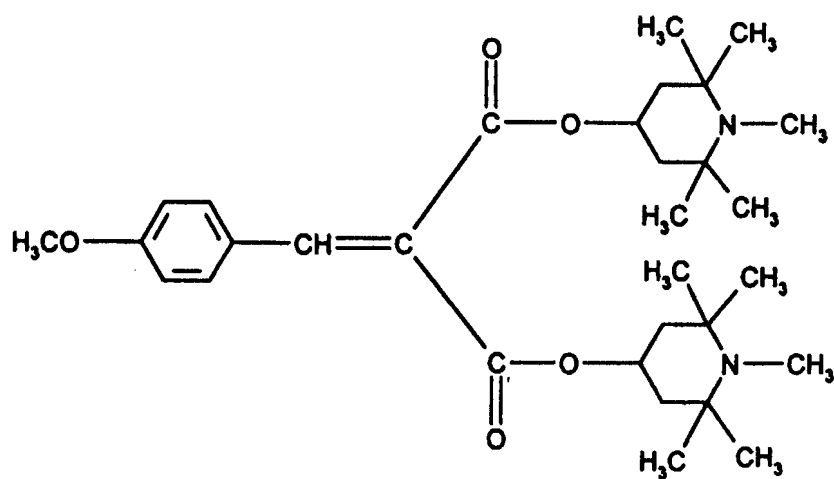
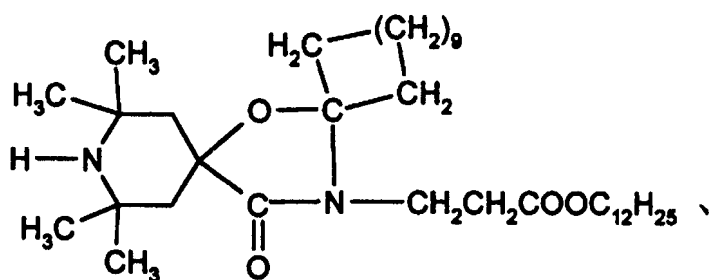
2, 2, 4, 4-テトラメチル-7-オキサ-3, 20-ジアザ-21-オキソジスピロ
[5. 1. 11. 2] ヘンエイコサン、
【化6】



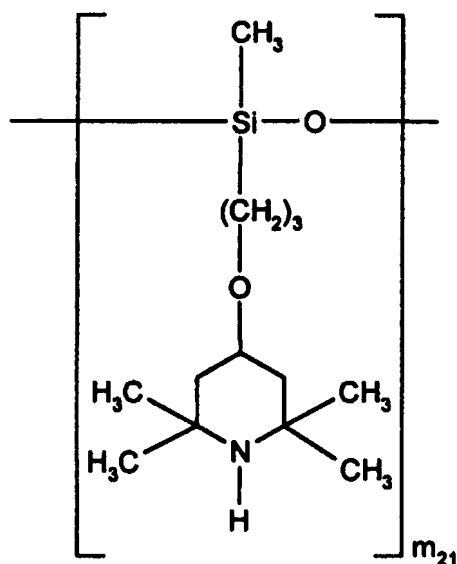
[式中、 R_0 は炭素原子数12ないし14のアルキル基を表す。]、
1, 2, 3, 4-テトラキス[1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチルピペリジニ-4-イル
オキシカルボニル]ブタン、
1, 2, 3, 4-テトラキス[2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イルオキシ
カルボニル]ブタン、
ビス[1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチルピペリジニ-4-イルオキシカルボニル]-ビス
[トリデシルオキシカルボニル]ブタン、
ビス[2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イルオキシカルボニル]-ビス[
トリデシルオキシカルボニル]ブタン、
2-(2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イルアミノ)-2-(2, 2, 6,
6-テトラメチルピペリジニ-4-イルアミノカルボニル)プロパン、
【化7】



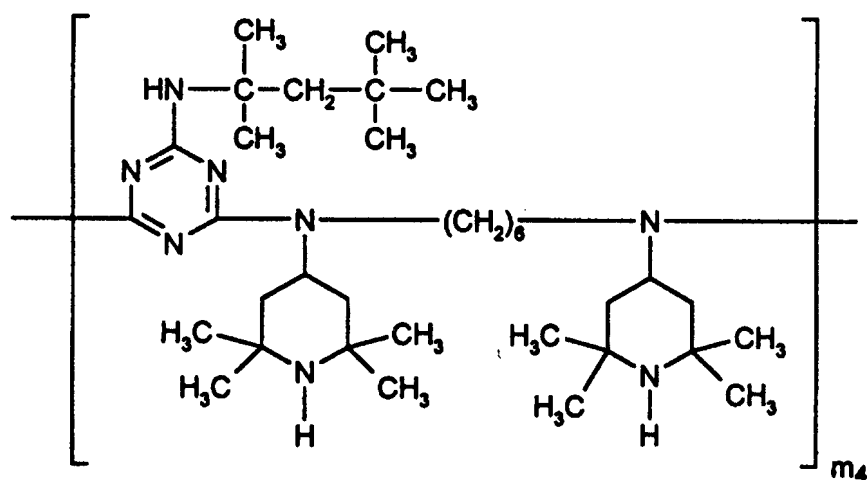
1, 6-ビス [N-(2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イル) ホルミルアミノ] ヘキサン、
【化 8】



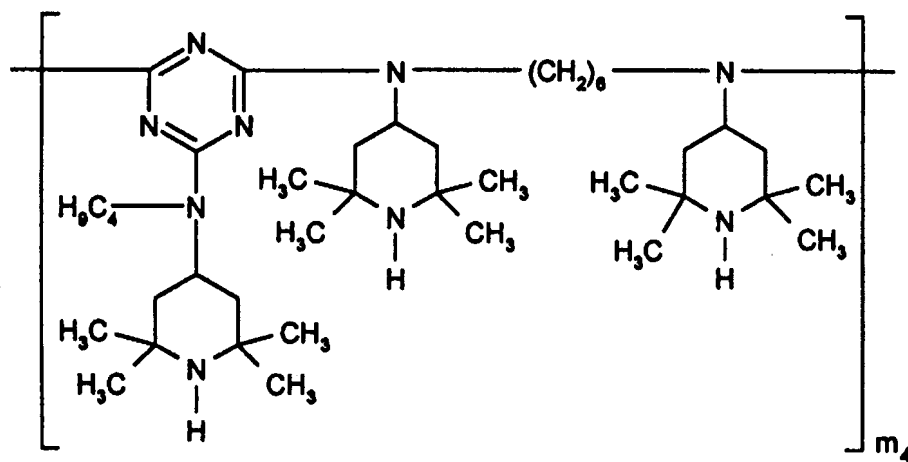
【化 9】



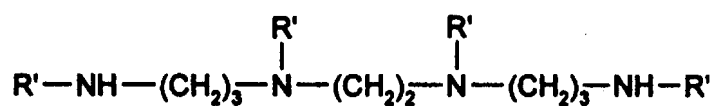
[式中、 m_{21} は1ないし20の数を表す。]、
【化10】



[式中、 m_4 は2ないし50の数を表す。]、
【化11】

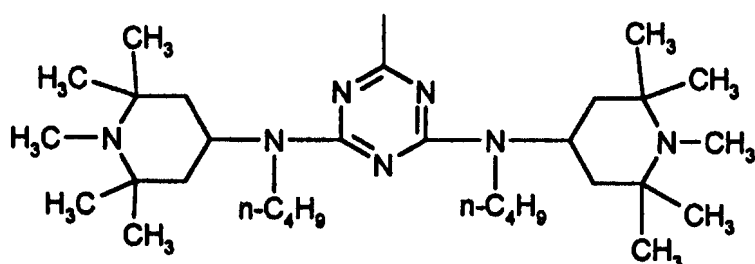


[式中、 m_4 は2ないし50の数を表す。]、
【化12】



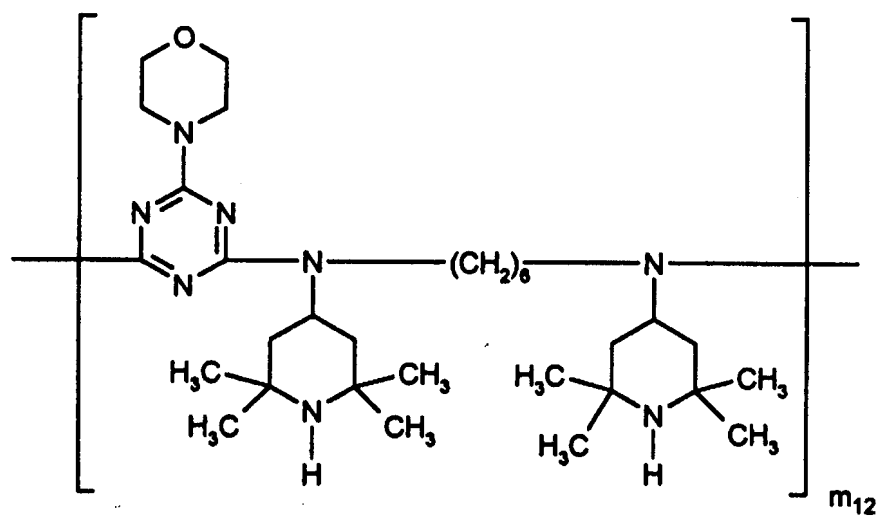
[式中、R'は

【化13】



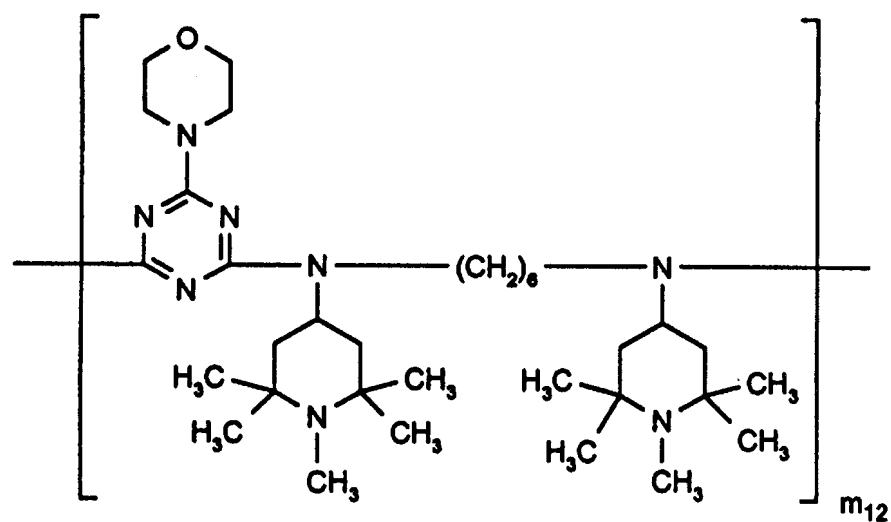
を表す。]、

【化14】

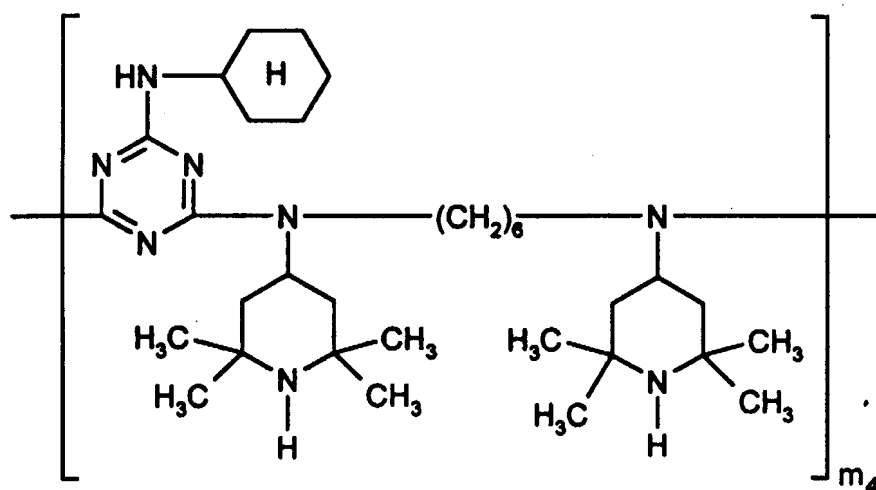


[式中、 m_{12} は2ないし50の数を表す。]、

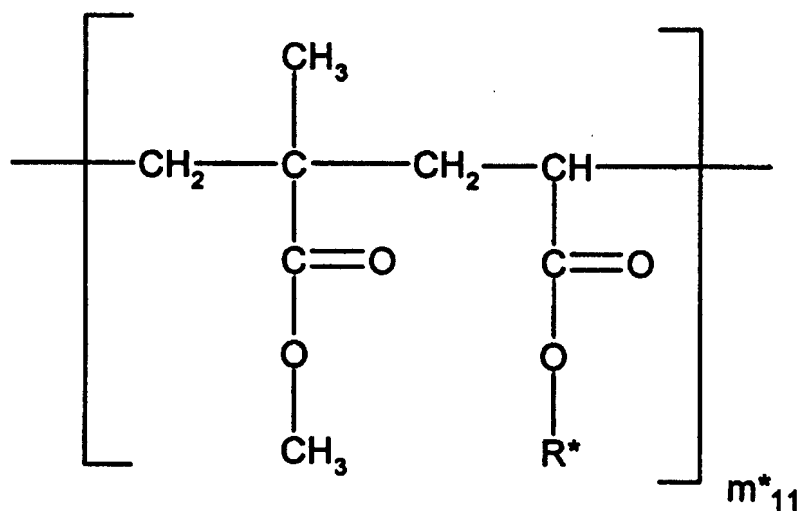
【化15】



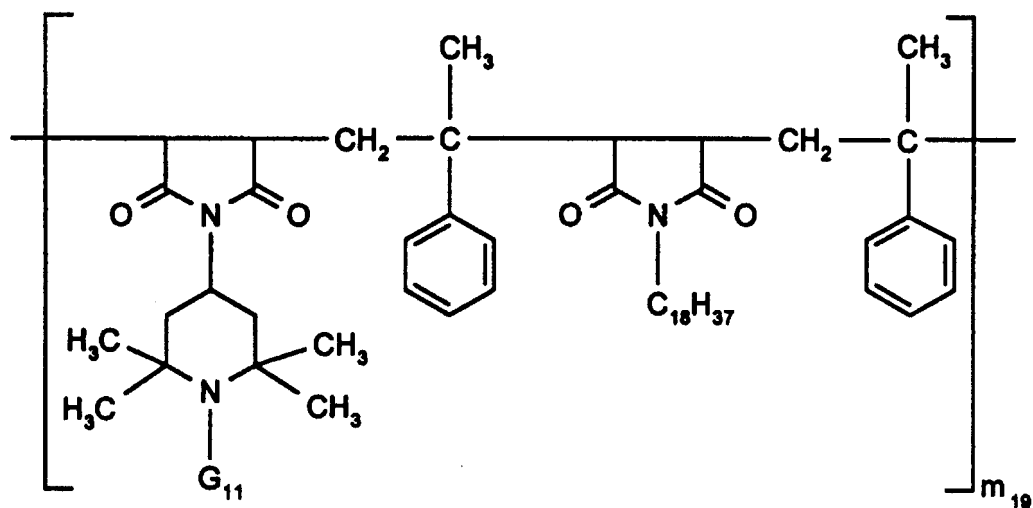
[式中、 m_{12} は2ないし50の数を表す。]、
【化16】



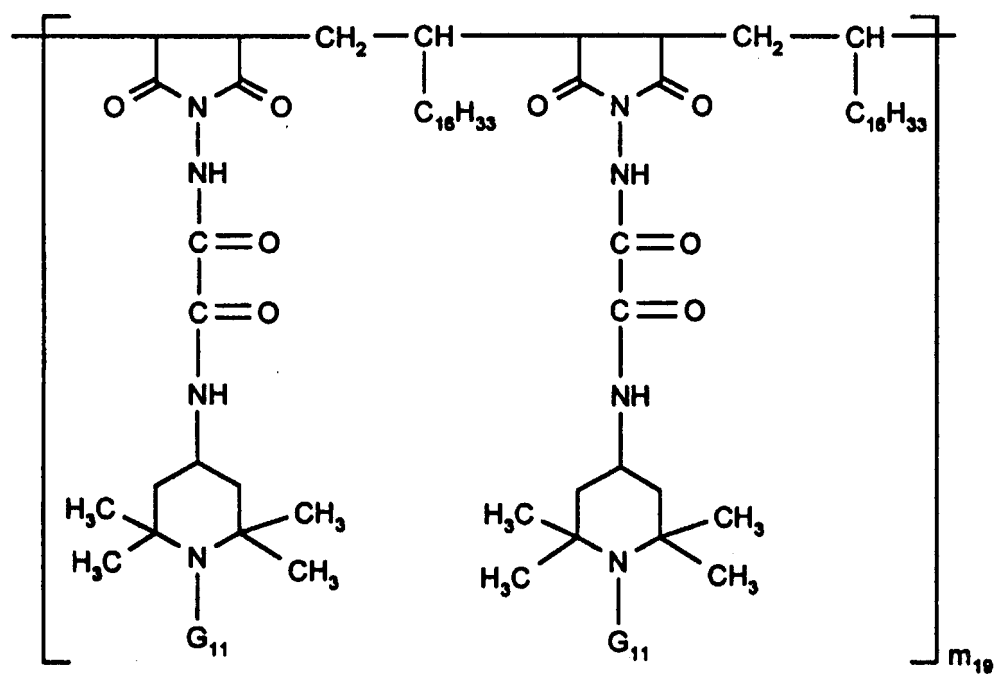
[式中、 m_4 は2ないし50の数を表す。]、
【化17】



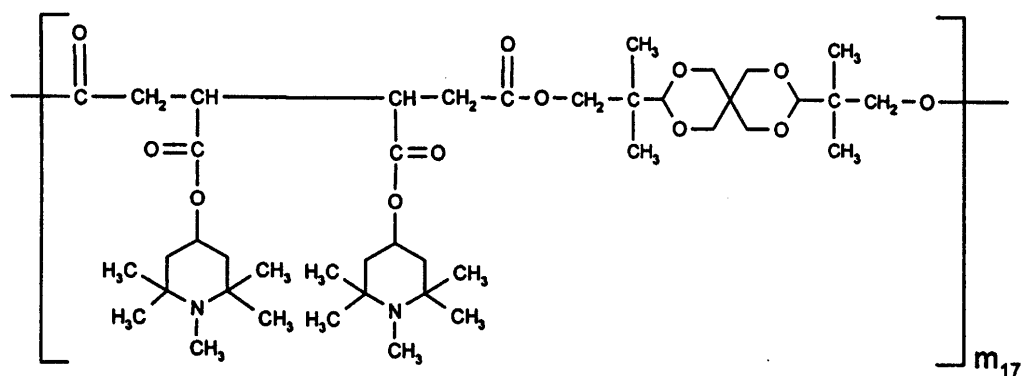
[式中、 m_{11}^* は2ないし50の数を表し、そして
 R^* は互いに独立してエチル基または2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イル基を表すが、但し基 R^* の少なくとも50%は2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イル基を表しかつ残りの基 R^* はエチル基を表す。]、
【化18】



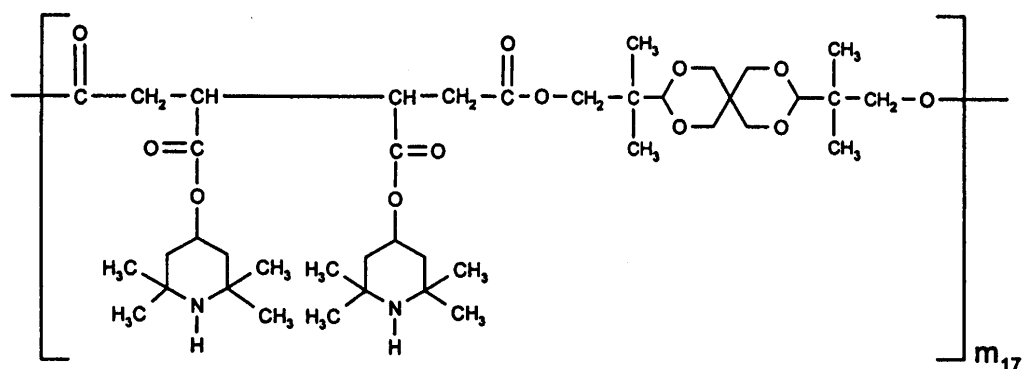
[式中、 m_{19} は1ないし25の数を表し、そして G_{11} は水素原子またはメチル基を表す。]
 【化19】



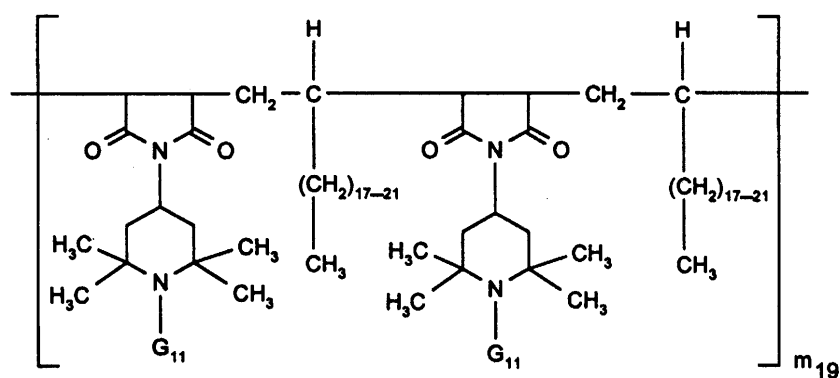
[式中、 m_{19} は1ないし25の数を表し、そして
 G_{11} は水素原子またはメチル基を表す。]
 【化20】



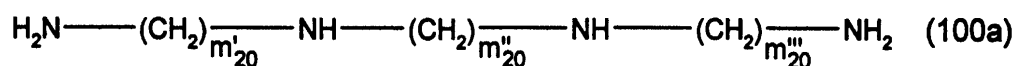
[式中、 m_{17} は1ないし20の数を表す。]、
【化21】



[式中、 m_{17} は1ないし20の数を表す。]、または
【化22】

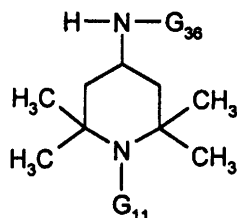


[式中、 m_{19} は1ないし25の数を表し、そして G_{11} は水素原子またはメチル基を表す。]
、または
次式(100a)
【化23】



[式中、 m'_{20} 、 m''_{20} および m'''_{20} は互いに独立して2ないし12の数を表す。]で
表されるポリアミンと塩化シアヌルとの反応によって得られる中間生成物と、次式(100b)

【化 2 4】



(100b)

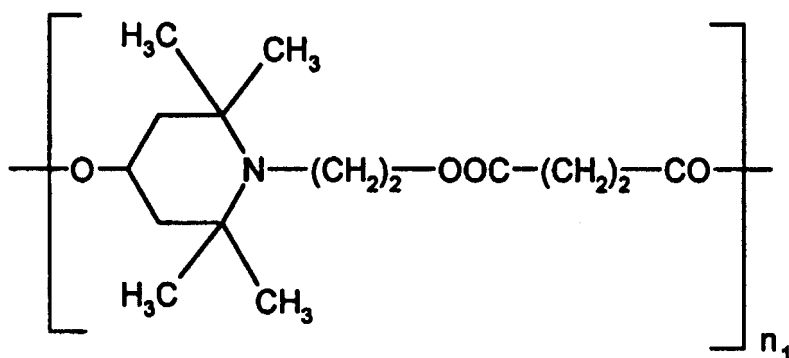
〔式中、 G_{36} は水素原子、炭素原子数1ないし12のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、フェニル基または炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基を表し、そして

G_{11} は水素原子またはメチル基を表す。〕で表される化合物とを反応させることによって得られる生成物である、請求項1記載の安定剤混合物。

【請求項 3】

前記成分 (A) は

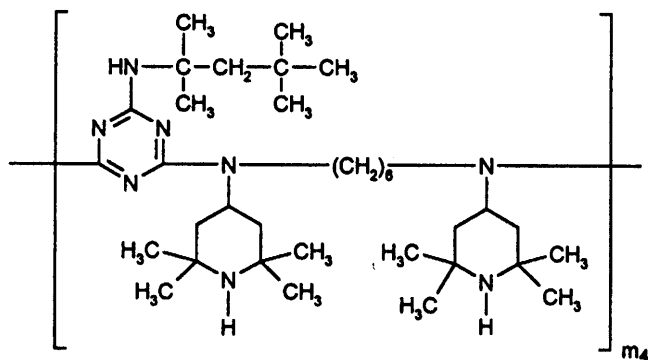
【化 2 5】



〔式中、 n_1 は2ないし20の数を表す。〕であり、そして
前記成分 (B) は

ジ (2, 2, 6, 6-テトラメチルピペリジニ-4-イル) セバケート、または

【化 2 6】



〔式中、 m_4 は2ないし50の数を表す。〕である、請求項1記載の安定剤混合物。

【請求項 4】

光、熱または酸化によって誘発される崩壊を受ける有機材料と請求項1記載の安定剤混合物を含む組成物。